

令和4年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）活用事業の実績について

1 交付金の概要

○名称

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

○交付金の概要

地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援するもの

○対象事業

先駆性のある取組及び先駆的・優良事例の横展開

・官民協働、地域間連携、政策間連携、事業推進主体の形成、中核的人材の確保・育成

<具体例>

しごと創生、観光振興、人の流れ（移住促進、地方創生人材の確保）、働き方改革（若者雇用対策、ワークライフバランスの実現等）、まちづくり（小さな拠点等）等

○財源

国の交付金（事業費の2分の1）

○事業実施数及び交付実績額

採択事業：5事業（うち3事業は、他市町との広域連携事業）

総事業費：77,976,773円

交付実績：38,987,885円

参考

○令和5年度事業実施数

採択事業：6事業（うち3事業は、県や他市町との広域連携事業）

計画額：107,197,000円

交付予定：53,598,000円

令和4年度デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)事業効果検証について

No.	事業の名称	事業実績	総事業費(円)	交付実績(円)	本事業における重要業績評価指標(KPI)	目標値	実績値	事業効果	今後の方針
1	「山口ゆめ回廊」観光を基軸とした交流価値共創プロジェクト～観光交流から移住・定住へ～ <広域> (R4-R6) 観光政策課	【第2期圏域連携事業】	30,640,064	15,319,532	MICE誘致件数	62	114	地方創生に相当程度効果があった	事業を発展
		【ジオパーク説明看板設置及び拠点施設改修事業】 ○山口ゆめ回廊博覧会の開催を契機として、美祢市の新たな周遊拠点を増やすため、ジオパークサイトの説明看板を設置した			着地型観光プログラム造成件数	7	20	評価	コロナを踏まえた本事業の今後の方針の理由
		【新しい生活様式や行動様式社会変化に対応した持続可能な新しい観光の創造事業】 ○山口ゆめ回廊観光推進協議会への負担金 山口ゆめ回廊圏域(7市町)において、圏域内の交流人口の拡大と周遊促進を図る事業を実施(夏休み期間の小中学生にむけたクーポン配布・リアル宝探し・食の周遊を目的としたSNSでの情報発信等)			外国人観光客数	36,246	25,443	7市町において広域的な取組を実施することで、周遊促進に繋がった。	一度に多くの環境客が集まるイベント等においては、基本的な感染防止対策を実施しつつ、人数制限をするなどの工夫を行う
		【住んでよし、訪れてよしの観光地域づくりを通じた多様な交流創造事業】 ○市全域を巻き込んだ観光地域づくりを推進するため、DMOの活動への支援や公式HPやSNS及びメディアによる情報発信を展開するため、観光プロモーションへの支援を実施			参考_美祢市交流人口(人)	-	1,168,540		
		【インバウンド誘客から創出する「まちの賑わい」創出事業】 ○台湾を中心とした東アジアからの訪日外国人観光客の誘致のため、美祢市・山口市観光交流パートナー協議会へ負担金を拠出し、台湾において両市の魅力発信等の周年記念イベントを実施。 ○秋吉台地域で、気球イベントやシナモロールを活用したイベントを実施し、秋吉台・秋芳洞の魅力の発信と地域の活性化に繋がった。			参考_美祢市外国人観光客(人)	-	1,559		
2	みね探求塾「挑戦のトビラ」展開による未来創生プロジェクト～未来は自分たちでつくるもの～ <単独> (R3-R7) 学校教育課	【公設塾mineto(R3.10開塾)】 ○「知のトビラ」として、『勉強→学び』への価値転換を。」をテーマに、「テストのための勉強」や「受験のための勉強」を「自己実現のための学び」にすることを旨とし、個別学習のサポートを実施した。実施日：火・木・金曜、水・土曜の授業前後。	12,008,301	6,004,150	受講者数(通塾者数)(人)	60	84	地方創生に相当程度効果があった	事業を継続
		○「好奇心のトビラ」として、水曜にファッション編、アート編、トイカケ編、情報編、教育編、金融編、言葉編、建築編(テーマ授業年7回)を各3～4回実施した。各編の人生の達人の回では、外部講師を招いての授業を実施した。			「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」に肯定的な回答をした生徒の割合(肯定率)(%)	59.0	50.7	評価	コロナを踏まえた本事業の今後の方針の理由
		○「挑戦のトビラ」として、平日プロジェクト(MINEスポプロジェクト、国際プロジェクト)、挑戦のトビラ授業(土曜日、観光マッププロジェクト東京プロモーション編、ジビエプロジェクト、映像制作プロジェクト)、フミダス！プロジェクトを実施した。			「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」に肯定的な回答をした生徒の割合(肯定率)(%)	62.0	58.2	一部の目標値が達成できていないが、公設塾を続けることや出張mineto等の取組により中学校の生徒全体に事業の効果が波及し、年度を追うごとに成果が表れると考えている。	事業継続に支障が出るような影響は出ていないため、引き続き事業を継続する
		○特別授業として、色遊びニストmaki氏など年7回実施。また、地域横断プロジェクト「フミダス！プレコン2022」(公設塾運営会社主催)に2名が参加し、生徒が自分のやりたいこと、実現したいことを大人(スポンサー参加者)の前でプレゼンして共感してもらい、「やりたいこと、実現したいこと」の支援獲得のため、2か月にわたってこれに取り組んだ。			交流した他自治体の子供たちの数(延べ数)(人)	40	92		
	○出張mineto、mineto合宿、minetoキャンプを実施。								

令和4年度デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)事業効果検証について

No.	事業の名称	事業実績	総事業費(円)	交付実績(円)	本事業における重要業績評価指標(KPI)	目標値	実績値	事業効果	今後の方針
3	美祢市健幸百寿プロジェクト <単独> (R3-R7) 健康増進課	【がん教育】 ○市内の小中学校においてがん教育を実施 小学校 6校、中学校 2校	18,644,651	9,322,325	みね健康マイレージ参加者数(人)	70	105	地方創生に相当程度効果があった	事業を継続
		【疾病危険度予測システム】 ○疾病危険度予測システムの再構築 ○データ収集のためのアンケートの実施			健康ウォーク参加者数(人)	100	295	評価	コロナを踏まえた本事業の今後の方針の理由
		【医学研究会】 ○本市に関する健康データの抽出 ○プロジェクト事業報告会を実施			特定健診の受診率(%)	45.0	35.0	健康関連イベントは継続的に実施したものと新規に開催したものを合わせて市民の意識啓発につなげることができた。	コロナ禍においても健康意識の向上は必須であり、今後も市民の健康寿命の延伸を図るため、健康意識の啓発につながる施策の継続的な実施が必要であるため。
		【人材の育成・確保】 ○職員を対象とした、高度人材育成研修を実施 ○学術機関による人材育成を実施			仮説検証型地域保健施策推進のための分析・施策立案に取組む高度人材(人)	2	2		
		【健康関連イベントの実施】 ○みね健康マイレージ、ウォーキング教室の開催 ○みね健幸測定会、みね健幸まつりの実施 ○食・栄養面からの行動変容講座の開催							
4	域外から稼ぐ力を生み出す「新たな産業・交流拠点」づくり推進事業 <広域> (R4-R6) 地域振興課	【新たなモビリティサービス調査・実証事業】 ○実証対象エリア:「新山口駅～美祢市街地他」における交通機関の利用状況調査 ○[新山口駅～美祢市街地他]MaaS用アプリの開発及びビジネスモデルの構築 ○[新山口駅～美祢市街地、宇部～美祢～長門]実証実験及び効果検証	4,549,974	2,274,987	本取組等の効果による事業化件数	19	19	地方創生に効果があった	事業を継続
		施設利用者数(年間) ※次世代型スマートホール、産業交流スペース、ライフインベーションラボ、アカデミーハウス等			714,000	611,270	評価	コロナを踏まえた本事業の今後の方針の理由	
		本取組等による実証事業の実施件数(ヘルスケア関連産業創出事業)			7	2	ニーズ調査や実証事業を実施したことにより、今後の政策形成に繋がった。	目標を下回る結果となったことから、次年度以降は観光客やインバウンドの利用を取り込むため、経路地を「美祢駅・道の駅おふく」から「秋芳洞(秋吉台観光交流センター)」に変更し実施する。	
		本取組等による実証事業の実施件数(新たなモビリティサービス調査・実証事業)			11	11			
		参考_直通便利用者(人)			979	165			
5	海・山・人が織りなす観光地の未来創造事業 <広域> (R3-R5) 観光政策課	【広域地域資源の再構築】 下関市・美祢市・長門市アウトドアツーリズム広域協議会負担金 ○令和4年7月4日(月)に総会を行い、令和4年度の事業方針を決定 ○令和4年度にジャパンエコトラック認定され、3市での広域周遊ルートを設定	12,133,783	6,066,891	アウトドアスポーツ体験者数(人)	45,546	47,131	地方創生に効果があった	事業を発展
		【情報発信強化とアウトドアスポーツブランドの確立】 秋吉台カルストロードレース実行委員会補助金 ○令和4年10月30日(日)にJCL秋吉台カルストロードレースを開催 ○レースの様子をYouTubeにおいて生中継を行い、全国多くのお客様が視聴した			観光客数(人)	13,873,515	7,657,675	評価	コロナを踏まえた本事業の今後の方針の理由
		宿泊客数(人)			1,556,177	1,096,641	アウトドアスポーツの体験者数を始めコロナ禍ではあるが増加傾向がみられた。	コロナが落ち着きをみせたので、誘客促進を積極的に図り、観光客数の増加につなげる。	
		参考_美祢市アウトドアスポーツ体験者数(人)			-	809			
		参考_美祢市宿泊客(人)			-	43,395			
合計			77,976,773	38,987,885					

備考 【事業効果の判断基準】

地方創生に非常に効果的であった	全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
地方創生に相当程度効果があった	一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
地方創生に効果があった	KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
地方創生に対して効果がなかった	KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言えないような場合

【今後の方針】

事業を継続	コロナ禍においても計画通りに事業を継続する(または、概ね同内容で継続する)
事業を発展	コロナ禍という環境に運応し、取組を更に発展させる
事業の改善	コロナ禍に伴い事業の効果が見込みを下回ったことから見直し(改善)を行う(または、行った)
事業の縮小	コロナの影響に伴い事業を縮小する
事業の中止	継続的な事業実施を予定していたがコロナの影響に踏まえ中止する(または、した)
事業の終了	当初予定通り事業を終了する(または、した)